

総合判定区分一覧表

災害発生の可能性		
ア	発生の可能性大	危急性有り
イ	発生の可能性大	危急性無し
ウ	発生の可能性小	
エ	発生の可能性無し	
オ	本調査では危険度を判定できない	

被災の対象		
a-1	水道施設以外の第三者	水道施設主要部
a-2	水道施設以外の第三者	水道施設付帯部
a-3	水道施設以外の第三者	
b-1	水道施設主要部	
b-2	水道施設付帯部	
c	被災無し	

一次調査結果危険度区分

災害の可能性 被災の対象	ア	イ	ウ	エ	オ
a-1	A	A	C	D	E
a-2	A	B	C	D	E
a-3	B	B	C	D	E
b-1	B	B	C	D	E
b-2	C	C	C	D	E
c	D	D	D	D	D

二次調査結果

調査結果	
1	早急な対策工が必要
2	対策工が必要
3	詳細調査が必要
4	補修が必要
5	当面監視
6	問題無し

一次調査結果危険度ランク

危険度ランク	
A	早急な対策が必要
B	二次調査により対策の必要性を検討
C	当面監視
D	問題無し
E	本調査では危険度を判定できない 危険度判定には別途調査を要する

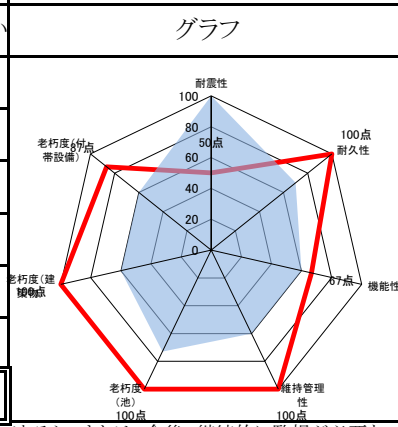
平成25年度 水道施設法面・斜面安定度調査業務 調査結果一覧表

Table with columns for No., 池名称, 所在地 (区別, 住所), 所管, 稼働状況, 諸元 (容量, 水位 H.W.L, 水位 L.W.L), 構造, 完成年, 99'ハザードマップ該当項目 (土石流, 崖崩れ, 地すべり), 一次調査結果 (実施箇所, 災害発生可能性, 被災の可能性, 危険度, A.B.Eランク変状箇所), 二次調査結果 (実施箇所, 簡易貫入試験実施, 調査結果 (今後の対応)), 震予地震後点検実施箇所 (写真有)

広島市水道局 水道施設カルテ

施設番号	緑井〇〇〇	管理部署	緑井浄水場	
種別	配水施設	系統	緑井浄水池(3号)	
施設名称	沼田調整池			
施設種別	調整池	設備種別	配水池	
設置場所	安佐南区沼田町大字伴字小迫4736番地1			
施設概要	RC造り地上式 20.0m×42.8m×H5.0m 池数 1池2分割 有効容量 3,600m ³ H.W.L +148.000m L.W.L +143.000m GL +148.000m	基本情報	基礎形式 杭基礎 地盤の概要 I種地盤 構造形式 版・壁式 耐震壁 無し	
付属施設	久地第一ポンプ所	一般開放	有(利用目的: _____)・無し	
完成年度	1993年(平成5年度)	施設写真 		
工事番号	平成2年度 7括計 第469号			
法定耐用年月	60年 ※地方公営企業法で定められた年数			
法定更新年度	2053年			
予定更新年度	2073年(80年) ※使用可能な予定年数			
マイクロ番号				
前回点検年度	2011年(平成23年)			
修繕履歴	実施年度	-		
	修繕内容	-		
耐震診断	実施年度	2011年(平成23年)		
	施設の需要度	A1	地震動のレベル レベル2	
	診断結果	L1については、耐震性あり。 L2において、バルブ室の頂版、側壁、配水池ピット底版部で曲げNG、底版、側壁でせん断NGとなる結果となった。		
劣化診断	診断項目	測定値	実施年度	備考
	コンクリート強度	38.1~43.0 N/mm ²	2012年(平成23年)	※設計強度21N/mm ²
	中性化深さ	0.5~6.3 mm	2012年(平成23年)	被り残り 75mm-6.3mm=68.7mm > 20mm以上
	塩化物イオン	0.14~0.16 kg/m ³	2012年(平成23年)	※腐食発生限界塩化物イオン濃度 1.2kg/m ³ 未満
	鉄筋腐食	腐食グレードⅡ	2012年(平成23年)	※グレードⅡ以上であること
その他				
耐震診断及び劣化診断結果による考察	バルブ室の頂版、側壁、配水池ピット底版部で曲げNG、底版、側壁でせん断NGとなる結果となり、耐震補強が必要である。			

施設評価

項目	点数	基準点	内容	グラフ 	
機能診断	耐震性	50点	100点		基準に沿った耐震性能を有していない
	耐久性	100点	70点		
	機能性	67点	60点		有効容量が不足している
	維持管理性	100点	60点		
	老朽度(池)	100点	73点		
	老朽度(建築物)	100点	60点		
	老朽度(付帯設備)	87点	60点		排水溝:落ち葉等堆積多い
施設評価	50点				
備考	基準点:基準点よりも低い評価項目は、何等かの問題があるため、補修・補強の検討が必要であるか、または、今後、継続的に監視が必要な劣化が存在する。				

個別機能診断

調査年月日:

施設種別	調整池	設備種別	配水池	施設名	沼田調整池		
機能分類	設 問			評価区分	判定点	平均値 (基準点)	対応
耐震性	1	構造物について、耐震基準に沿った強度を有しているか？		5.耐震性がある 1.未実施 0.耐震性がない	0	50 (100)	耐震性がない場合は、耐震補強、または、更新を検討する。
	2	ポンプ所または上屋について、耐震基準に沿った強度を有しているか？		5.耐震性がある 1.未実施 0.耐震性がない	5		耐震性がない場合は、耐震補強、または、更新を検討する。
耐久性	1	コンクリート強度は、設計強度以上を有しているか。		5.有している 1.未実施 0.有していない	5	100 (70)	強度が不足する場合は、更新を検討する。
	2	中性化に対して鉄筋被り残厚があるか。		5.残厚は50mm以上ある 3.残厚は20mm以上50mm未満である 0.残厚は、20mm未満である	5		中性化が確認された場合は、進行状況を監視する。
	3	塩化物イオン濃度はどうか。		5.ほとんどない 3.1.2kg/m3未満である 0.1.2kg/m3以上である	5		内部鉄筋に影響する濃度である場合、施設の更新を検討する。
	4	コアの鉄筋腐食状況はどうか。		5.健全である 3.一部に腐食が見られるが問題ない 0.全周錆びついている	5		腐食状況が構造物の耐久性に影響する場合は、補修・補強または施設の更新を検討する。
機能性	1	給水量の時間変動調整、火災時の消火用水確保、停電や施設事故・水質汚染事故等に備えた非常時対応容量の相当分の有効容量は確保されているか？		5.十分な容量がある 3.概ね満足する容量がある 0.容量が不足している	0	67 (60)	容量が不足する場合、容量の増強等を検討する。
	2	給水区全体に適正な水圧をもって給水できているか？		5.問題はない 3.十分ではないが概ね問題は少ない 0.問題点が多い	5		問題がある場合、系統切替等を検討する必要がある。
	3	配水池内で、あるいは配水池までなど、水質が悪化することはないか？(残留塩素の低下や不均一等)		5.異常ない 3.十分ではないが概ね良好 0.悪化することがある	5		運用水位等を検討する。
維持管理性	1	維持管理に多くの労力、危険、煩雑さ等の問題はないか？		5.問題はない 3.十分ではないが概ね良好 0.問題点が多い	5	100 (60)	定期点検等不可能な施設については、池の増設や更新を検討する必要がある。
	2	池構造や付帯配管(流入管、流出管、越流管の形態、口径、弁類の動作状況)等が原因して維持管理に支障をきたすことはないか？		5.問題はない 3.十分ではないが概ね問題は少ない 0.問題点が多い	5		問題がある場合、解決策を検討する。
	3	定期的な池内外部の点検及び必要に応じて清掃を実施しているか？		5.定期的に実施している 3.不定期に実施している 0.実施していない	5		
老朽度 (池本体)	1	躯体についてクラック等の劣化発生状況はどうか？		5.外面、内面とも問題ない 3.幅0.2mm以上のクラックはあるが、運用上問題ない 0.幅0.4mm以上のクラックがある	5	100 (73)	幅0.4mm以上のクラックは補修対象とする。
	2	内面保護に異常はないか。		5.異常ない 3.一部に劣化があるが問題ない 0.全体的に劣化が激しい	5		
	3	池漏水の発生や外部からの汚染、異物混入の危険性はないか？		5.問題はない 0.問題点がある	5		貫通の恐れがある場合は、補修の対象とする。
老朽度 (建築物)	1	屋根、壁、梁等にクラック等の劣化はないか？		5.外面、内面とも問題ない 3.幅0.2mm以上のクラックはあるが、運用上問題ない 0.幅0.4mm以上のクラックがある	5	100 (60)	幅0.4mm以上のクラックは補修対象とする。
	2	建築設備(給排水設備、空調、照明等)は老朽化が目立っていないか？		5.外観、機能共問題ない 3.一部、老朽化部分がある 0.全体的に老朽化が激しい	5		
	3	階段、手摺等に事故の原因となりうる劣化はないか？		5.問題はない 3.一部あるが安全上問題は少ない 0.事故に繋がる恐れがある	5		事故に繋がる問題が確認された場合、早急な対応が必要となる。
老朽度 (付帯設備)	1	排水構造物に損傷、または堆積等によるつまりがないか？		5.外観、機能共問題ない 3.一部に劣化があるが問題ない 0.全体的に老朽化が激しい	3	87 (60)	施設本体や周辺住民への影響度を考慮しながら評価する。
	2	擁壁・法面等に、水道施設または周辺住民へ影響を及ぼす可能性のある劣化はないか？		5.異常ない 3.一部に劣化があるが問題ない 0.本体または他へ影響を及ぼす可能性のある劣化がある	5		影響を及ぼす可能性のある劣化がある場合、早急な対策を検討する。
	3	門扉、フェンス等、外部からの進入を防止する設備に不備はないか？		5.問題はない 3.一部に不備はあるが、保安上問題ない 0.問題点が多い	5		
施設評価						50	

備考: [平均値=平均判定点/最高点の平均×100], [施設評価=各機能分類の平均値の中の最低点]

5: 良, 合格, 満足, 問題や支障がなく良好な状況

3: 可, 中間点であり, 部分的には問題もあるが, 対象施設, 設備について通常の運転, 使用に際し, 現状では支障の出ない状況, 状態。

1: 未実施。(今後, 実施する)

0: 不可, 不合格, 不満足, 問題点が多い状況。